

経営比較分析表（令和3年度決算）

宮城県 日南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	透未訓力	救臨感災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,078,313	23,668	-	第2種該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

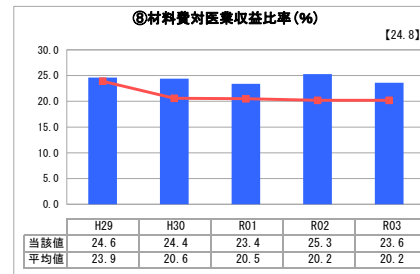
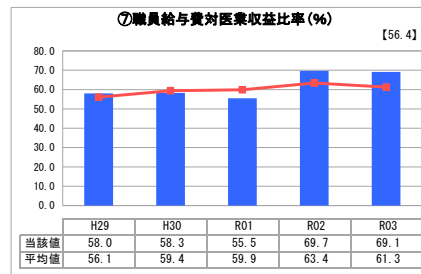
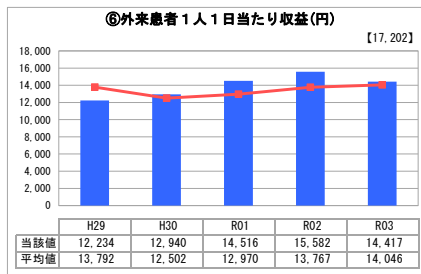
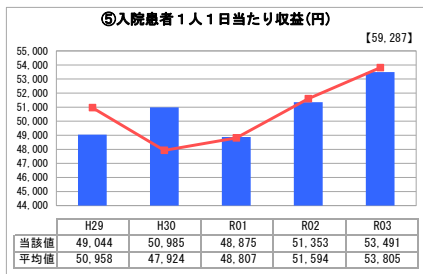
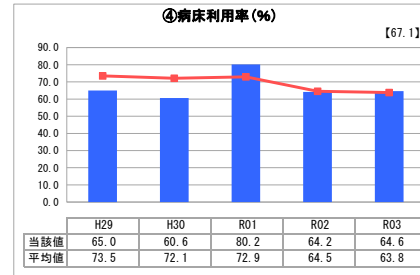
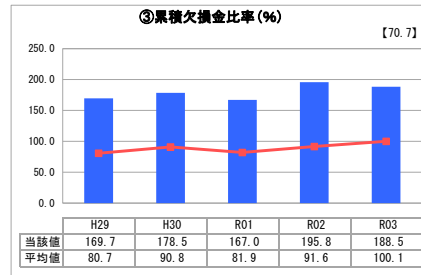
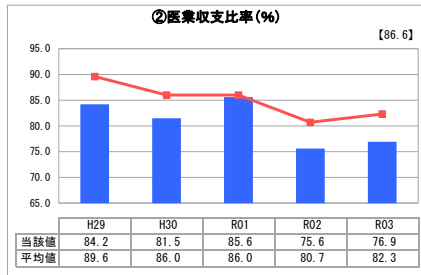
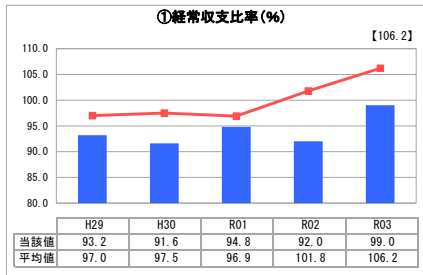
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
277	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	4	281
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
230	-	230

グラフ凡例

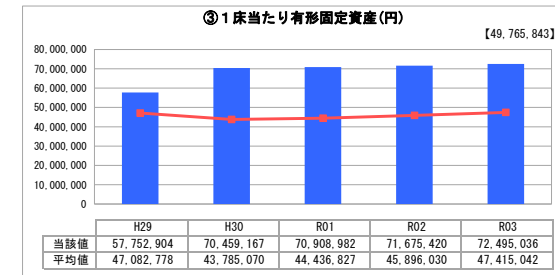
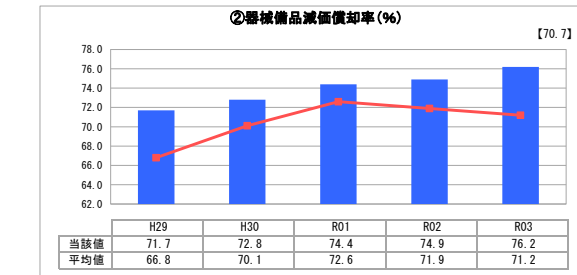
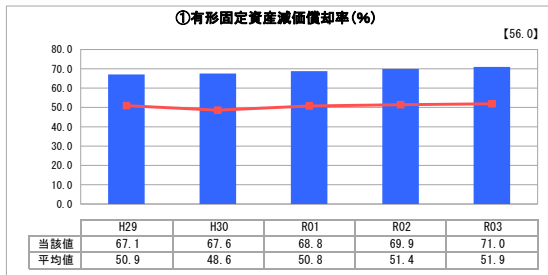
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

日南串間医療圏の中核病院であり、以下の疾病・事業等に係る基幹的な拠点病院及び地域完結型医療の提供を目指す地域医療支援病院としての役割を果たしている。

- ・疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞)
- ・事業(救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療)
- ・その他(第二種感染症指定医療機関、臨床研修指定病院、地域医療支援病院)

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び②医療収支比率ともに、平均値を下回っている。これは、地域のの中核病院としての役割を担うために一定の費用が必要となる一方で、地域の人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等により収益を上げにくい状況となっているためである。

③累積欠損金比率については、平均値を大きく上回っており、収支改善を図る必要がある。

④病床利用率は、平均値を若干上回っているが、引き続き受入患者の増加を図る必要がある。

⑤入院患者の1人1日当たり収益は平均値を下回り、⑥外来患者の1人1日当たり収益は平均値を上回っている。また、⑦職員給与費・材料費の対医療収益比率は平均値を大きく上回っており、更なる費用削減が必要である。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、現在の建物が改築から20年以上経過していることから、平均値を上回っている。なお、建物の長寿命化や修繕・更新等経費の平準化を図る個別施設計画を策定し、これに基づいて建物の維持管理を行っていくこととしている。

②器械備品減価償却率は平均値を上回っているが、医療器械については、保守点検の実施により現有機器を適切に管理するとともに、計画的な更新を行うこととしている。

③1床当たり有形固定資産は平均値を上回っているが、これは、中核病院としての役割を担うために必要な医療器械等を保有しているためである。

全体総括

R03決算は、収支比率や累積欠損金などが平均値に達しておらず、厳しい経営状況にあるため、更なる経営改善を図り、赤字幅を縮小していく必要がある。

このため、収益面では、地域の医療機関との連携等により受入患者増を図るとともに、費用面では、医薬品や診療材料の共同購入や効率的な使用推進を図り、削減に取り組んでいく。

また、医療機器等の更新については、多額の投資となることから、将来の収支状況を見据えながら計画的に実施していく。

(R03年度に策定した「宮城県病院事業経営計画2021(R03年度～R07年度)」)に基づく経営改善を着実に実行し、県民に高度で良質な医療を安定的に提供できるように取り組んでいく。